

厚生労働省岩手労働局発表

令和5年7月20日（木）

【照会先】

岩手労働局労働基準部健康安全課

課長 若月 敏幸

課長補佐 藤元 佳能

（電話） 019-604-3007

令和5年1月～6月分の労働災害発生状況
（速報値）を公表します

～死亡者数は減少、死傷者数は前年同期比で5.9%の増加～

岩手労働局（局長 あわむら 栗村 かつゆき 勝行）は、令和5年1月～6月の県内の全業種における労働災害による死傷者数（休業4日以上）と死亡者数の状況を取りまとめました。

- 1 令和5年1月～6月の死傷者数（6月末現在の速報値）は821人で、前年同期比で46人（5.9%）の増加、死亡者数は3人と前年同期比で10人の減少となっています。
- 2 業種別の災害発生状況等の詳細については、別添のとおりとなっています。

令和5年1月～6月の労働災害は、新型コロナウイルス感染症による労働災害の影響が続いており、前年同期比で46人（5.9%）の増加となっています。

事故の型で最も多い「転倒」災害は前年同期比で減少傾向を維持していますが、腰痛などの「動作の反動・無理な動作」による労働災害は増加してきており、特に小売業、社会福祉施設で増加が顕著になっています。

岩手労働局では、転倒災害や腰痛など労働者の行動に起因する行動災害の割合が高い小売業、介護事業について管内の主要企業、団体、県の関係部署を構成員として、SAFE協議会を昨年設置したところであり、引き続き協議会を通じた行動災害防止対策に取り組んでまいります。

また、暑熱期に入り、県内も気温が高い傾向が続くとされており、今月を重点取組期間としている「STOP！熱中症クールワークキャンペーン」の的確な実施を通して、熱中症の発生防止に取り組んでまいります。

I 令和5年（1月～6月）の労働災害発生状況（令和5年6月末現在の速報値）

1 死傷災害（休業4日以上）【表1】（P. 3）、【グラフ1】、【グラフ2】（P. 5）、【参考3】（P. 10）

（1）全業種合計

全業種合計の死傷者数は821人で、前年同期比で46人（5.9%）の増加となっています。

（2）業種別の状況[大分類]

① 前年同期比で増加数の多い順に、「保健衛生業」241人（前年同期比+126人、+109.6%）、「商業」100人（同+8人、+8.7%）と「接客娯楽業」37人（同+8人、+27.6%）が同数、次いで、「畜産水産業」27人（同+1人、+3.8%）となっています。

② 前年同期比で同数が、「貨物取扱」2人となっています。

③ 前年同期比で減少数の多い順に、「製造業」129人（前年同期比-54人、-29.5%）、「運輸交通業」76人（同-13人、-14.6%）と「通信業」9人（同-13人、-59.1%）が同数、次いで、「建設業」101人（同-4人、-3.8%）と「農林業」25人（同-4人、-13.8%）が同数、「鉱業」0人（同-3人、-100%）となっています。

（3）事故の型別状況

全業種において、最も多い事故の型は「転倒」によるもので、236人（28.7%）となっています。次いで、「墜落・転落」97人（11.8%）、「動作の反動・無理な動作」67人（8.2%）、「はさまれ・巻き込まれ」63人（7.7%）、「激突され」41人（5.0%）、「切れ・こすれ」39人（4.8%）、「激突」37人（4.5%）、「飛来・落下」24人（2.9%）、「交通事故（道路）」22人（2.7%）、となっています。

なお、【グラフ2】の「その他（上記以外）」の195人のうち、新型コロナウイルス感染症によるものが172人（前年同期66人）となっています。

2 死亡災害【表2】、【表3】（P. 4）

（1）全業種合計

全業種合計の死亡者数は3人で、前年同期と比べ10人の減少となっています。

（2）業種別の状況

業種は「建設業」1人、「商業」1人、「その他」1人となっています。

II 令和5年上半期の労働災害発生状況の分析

（1）全業種について【グラフ3】（P. 6）

休業4日以上の労働災害（各年6月末速報値）は、平成28年以降、500人台の後半

から 600 人台前半で推移していましたが、令和 3 年以降 3 年連続で増加し、令和 5 年上半期は 800 人台となりました。

(2) 主要業種の災害発生状況について【グラフ 4】(P. 6)

「製造業」は令和 2 年以降、3 年連続して増加しましたが、令和 5 年は前年比約 3 割の減少、「建設業」は令和 4 年以降、2 年連続の減少となりましたが 100 人台で高止まり、「道路貨物運送業」は令和 3 年以降 2 年連続増加し、令和 5 年は前年比で横ばい、「林業」は増減を繰り返しながら緩やかな減少傾向、「小売業」は 70 人台で高止まり、「社会福祉施設」は新型コロナの影響もあり、増加傾向となっています。

(3) 転倒災害の発生状況について【グラフ 5】、【グラフ 6】(P. 7)

転倒災害は、「製造業」で 45 人(34.9%)、「林業」で 4 人(21.1%)、「小売業」で 42 人(53.8%)、「社会福祉施設」で 28 人(19.2%)となっており、これら 4 業種における事故の型別の発生状況で 1 番多くなりました*。また、「建設業」で 15 人(14.9%)、「道路貨物運送業」で 13 人(19.1%)と 2 番目に多くなっており、多くの業種で事故の型の上位を占めています。

*社会福祉施設は新型コロナを含む「その他」を除く。

また、全業種の年代別では 60 代で最も多くなっており、50 代以上でみると、転倒災害の 8 割を示しています。

III 令和 5 年 1 月～6 月の労働災害発生状況を踏まえた取組みについて

令和 5 年 1 月～6 月の労働災害は、新型コロナウイルス感染症による労働災害の影響が続いており、前年同期比で 46 人(5.9%)の増加となっています。

事故の型で最も多い「転倒」災害は前年同期比で減少傾向を維持していますが、腰痛などの「動作の反動・無理な動作」による労働災害は増加してきており、特に小売業、社会福祉施設で増加が顕著になっています。

岩手労働局では、転倒災害や腰痛など労働者の行動に起因する行動災害の割合が高い小売業、介護事業について管内の主要企業、団体、県の関係部署を構成員として、SAFE 協議会を昨年設置したところであり、引き続き協議会を通じた行動災害防止対策に取り組んでまいります。

また、暑熱期に入り、県内も気温が高い傾向が続くとされており、今月を重点取組期間としている「STOP! 熱中症クールワークキャンペーン」の的確な実施を通して、熱中症の発生防止に取り組んでまいります。



キャンペーン
実施要項

【表1】

令和5年 労働災害発生状況（休業4日以上の死傷者数）

令和5年1月～6月

岩手労働局

業種	岩手局		盛岡署	宮古署	釜石署	花巻署	一関署	大船渡署	二戸署													
	令和5年	令和4年																				
製造業	水産食料品	7 (3)	37 (3)	-30	-81.1%			4 (1)														
	上記以外の食料品	55 (19)	47 (18)	8	17.0%	22 (4)		2 (1)	12 (7)	8 (4)	3 (2)											
	繊維・衣服その他繊維製品	4 (1)	6 (2)	-2	-33.3%					1	1											
	木材・木製品、家具・装備品	10 (1)	15 (2)	-5	-33.3%	2				3	1 (1)	1										
	パルプ・紙、印刷・製本	2	4 (1)	-2	-50.0%																	
	化学工業	5 (2)	① 12 (3)	-7	-58.3%																	
	窯業土石	3 (1)	6 (2)	-3	-50.0%	1																
	鉄鋼業、非鉄金属	6 (2)	5	1	20.0%					1	3	3										
	金属製品	6 (1)	12 (3)	-6	-50.0%	2																
	一般機械器具	11 (2)	14 (5)	-3	-21.4%	1 (1)				1	2 (1)											
	電気機械器具	9 (6)	10 (6)	-1	-10.0%	2 (2)																
	輸送用機械製造	6 (3)	7 (3)	-1	-14.3%	3 (2)																
	電気・ガス		1 (1)	-1																		
その他の製造	5 (4)	7 (3)	-2	-28.6%	4 (3)																	
小計	129 (45)	① 183 (52)	-54	-29.5%	37 (12)	6	7 (3)	40 (19)	19 (5)	4 (2)												
鉱業		3 (2)	-3																			
建設業	土木工事	① 35 (4)	③ 28 (5)	7	25.0%	7		2 (1)	① 13 (1)	4 (1)												
	鉄骨・鉄筋家屋	20 (4)	16 (3)	4	25.0%	6 (1)			8 (1)	4 (1)												
	木造家屋	15 (2)	18 (2)	-3	-16.7%	6 (1)			3	2 (1)												
	その他の建築工事	16 (2)	① 23 (3)	-7	-30.4%	5 (1)			2	3												
	その他の建設	15 (3)	① 20 (4)	-5	-25.0%	3			1	2 (1)	2 (1)											
運輸交通業	道路貨物運送業	① 101 (15)	⑤ 105 (17)	-4	-3.8%	27 (3)			① 31 (3)	14 (3)												
	その他の運輸交通業	68 (13)	69 (25)	-1	-1.4%	19 (5)			2	3 (1)	2 (1)											
貨物取扱		8 (6)	20 (16)	-12	-60.0%	6 (5)			1													
		2 (2)	2 (1)	0	0.0%	2 (2)																
農林業	農業	6	7 (2)	-1	-14.3%	2			1	1												
	林業	19 (4)	② 22 (1)	-3	-13.6%	5			3 (1)	2												
	畜産業	23 (4)	20 (3)	3	15.0%	5 (2)				4												
	水産業	4	6 (2)	-2	-33.3%																	
商業	小売業	① 78 (42)	② 72 (44)	6	8.3%	34 (18)			① 23 (12)	8 (5)												
	その他の商業	22 (9)	20 (10)	2	10.0%	11 (3)			8 (5)	1 (1)												
通信業		9 (5)	22 (13)	-13	-59.1%	4 (3)			2	1 (1)												
		146 (28)	74 (24)	72	97.3%	59 (9)			3 (2)	11 (3)												
保健衛生業	社会福祉施設	95 (16)	41 (10)	54	131.7%	58 (9)			2	7 (2)												
	その他の保健衛生業	9	19 (11)	-10	-52.6%	5			1	2 (2)												
接客娯楽業	飲食店	17 (7)	6 (2)	11	183.3%	7 (2)			6 (2)	4 (3)												
	その他の接客娯楽業	11 (4)	4 (1)	7	175.0%	2 (1)			5 (1)	3 (1)												
その他	ビルメンテナンス業	17 (11)	25 (19)	-8	-32.0%	11 (7)			5 (4)													
	その他(上記以外の全ての業種)	① 57 (23)	③ 55 (20)	2	3.6%	① 30 (8)			1 (1)	7 (4)												
合計	③ 821 (236)	⑨ 775 (275)	46	5.9%	① 324 (89)	④ 38 (14)	② 54 (17)	② 217 (103)	① 66 (18)	① 63 (5)												
										前年同期	増減数	増減率										
											63	24.1%	-17	-7.8%	31	47.0%	-16	-25.4%	11	14.5%		

(注) 令和5年は令和5年6月末の速報値、令和4年は令和4年6月末の速報値です。

○内は死亡者数(内数)です。

○内は転倒災害者数(内数)です。

【表2】

令和5年 死亡災害発生状況（令和5年6月末日現在）

岩手労働局

番号	署別	業種	発生日	曜日	性別	年齢 (経験期間)	事故の型	起因物	災害発生の概要
1	花巻	建設業 (橋梁建設工事業)	3月	月	男	50歳代 (30年以上 40年未満)	墜落・転落	作業床、歩み板	作業構台の組立作業中、仮設の作業床を移動させるため、労働者3人が作業床に乗り、作業床を固定していた金具を外した後、被災者が作業床上を歩行していたところ作業床が傾き、被災者が6.3m下の地面に墜落し死亡したものの。
2	花巻	商業 (その他の小売業)	4月	木	男	40歳代 (1年以上 10年未満)	はさまれ、巻き込まれ	その他の一般動力機械	走行中、突然エンジンが停止した自走式木材粉碎機(チップパー)のバッテリーを充電し、被災者が運転席の外からエンジンキーを回したところ、エンジンがかかると同時にチップパーが走行し始め、隣に駐機していたアースドリル機との間に被災者がはさまれ死亡したものの。
3	盛岡	警備業	6月	火	女	20歳代 (1年以上 10年未満)	激突され	移動式クレーン	高速道路の走行車線に設けた工事用の規制帯で、工事業者の労働者が積載型トラッククレーンを運転し、規制帯から本線への車両出入り口に向けて約500メートル後進させていたところ、後方で一般車両の誘導を行っていた被災者が当該トラッククレーンの左後輪部で轢かれ死亡したものの。

【表3】

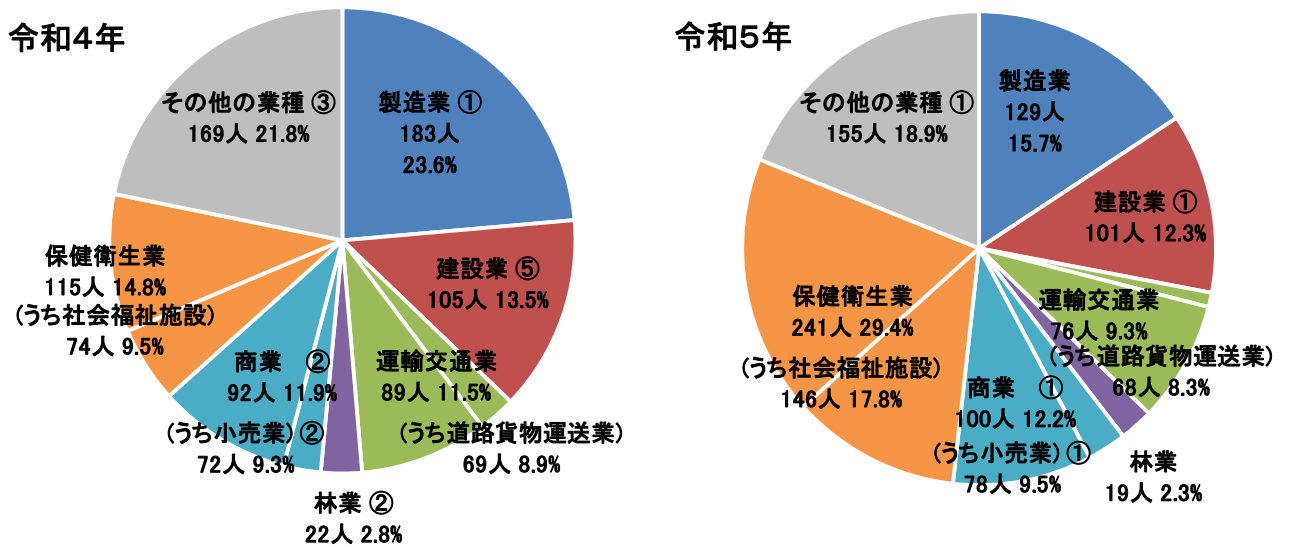
令和5年 死亡災害発生状況（事故の型別等）

(令和5年6月末日現在)

業種別	製造業	鉱業	建設業	運輸交通業	林業	商業	左記以外	3人 (前年同期13人)
	0人 (1人)	0人 (0人)	1人 (5人)	0人 (0人)	0人 (2人)	1人 (2人)	1人 (3人)	
監督署別	盛岡	宮古	釜石	花巻	一関	大船渡	二戸	
	1人 (1人)	0人 (4人)	0人 (2人)	2人 (2人)	0人 (1人)	0人 (1人)	0人 (2人)	
事故の型別	墜落・転落	転倒	飛来・落下	崩壊・倒壊	激突され	はさまれ・巻き込まれ	切れ・こすれ	
	1人 (1人)	0人 (0人)	0人 (3人)	0人 (2人)	1人 (1人)	1人 (1人)	0人 (0人)	
	破裂	高温の物との接触	激突	感電	有害物等との接触	交通事故	その他	
	0人 (0人)	0人 (2人)	0人 (0人)	0人 (0人)	0人 (0人)	0人 (1人)	0人 (2人)	

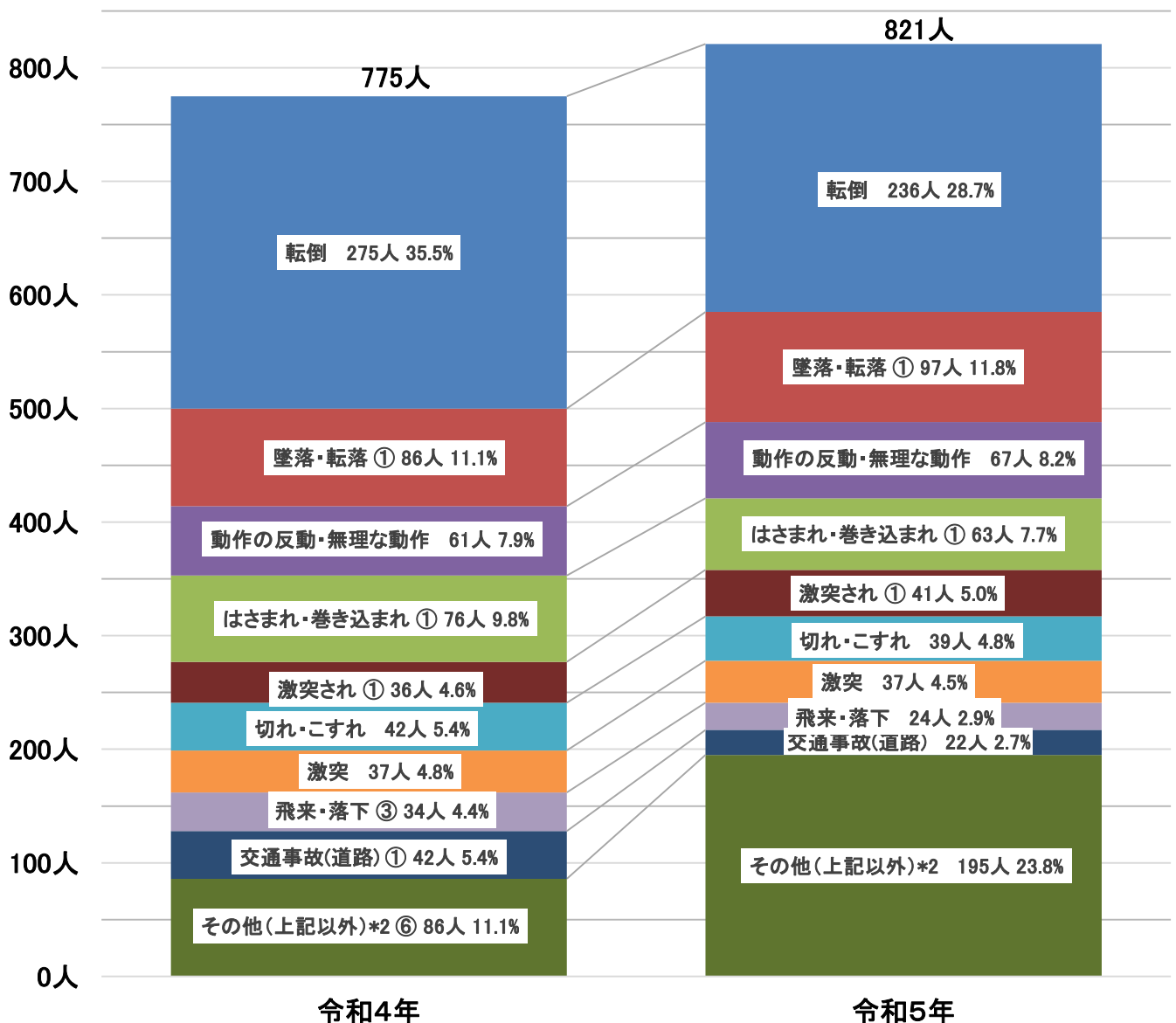
注：（ ）内は前年同期

【グラフ1】 令和4年・令和5年 業種別労働災害発生状況[1月～6月]*1



*1 令和4年は令和4年6月末の速報値、令和5年は令和5年6月末の速報値

【グラフ2】 令和4年・令和5年 事故の型別労働災害発生状況[1月～6月]*1

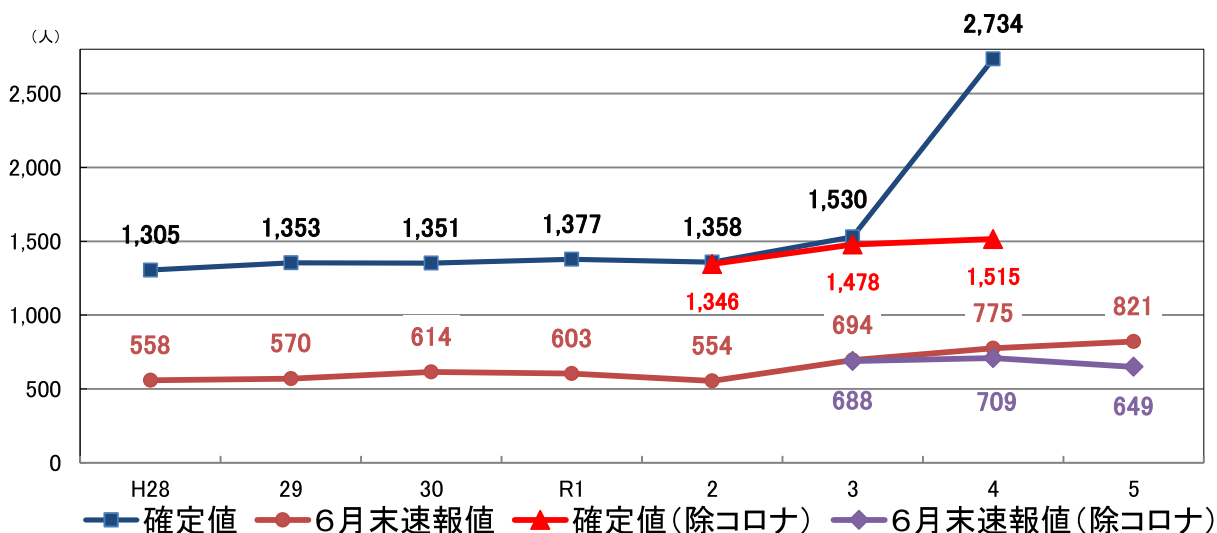


○内は死亡者数(内数)です。

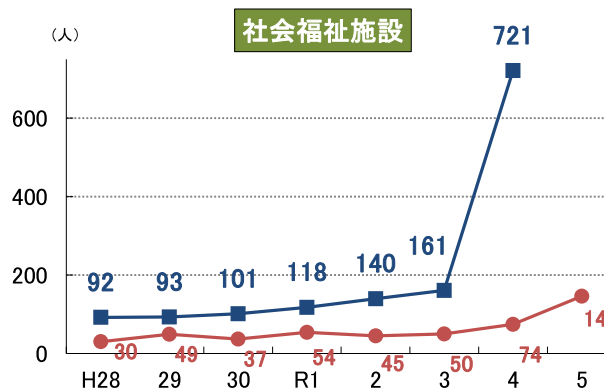
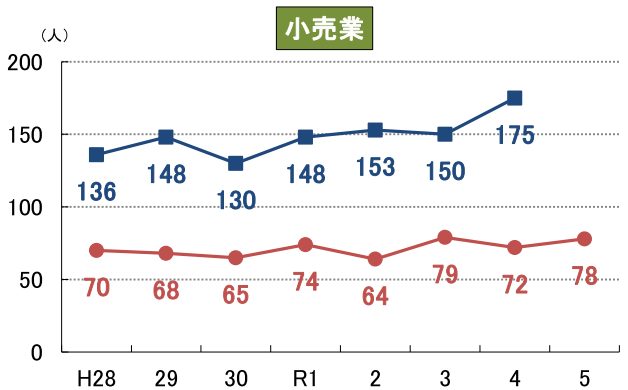
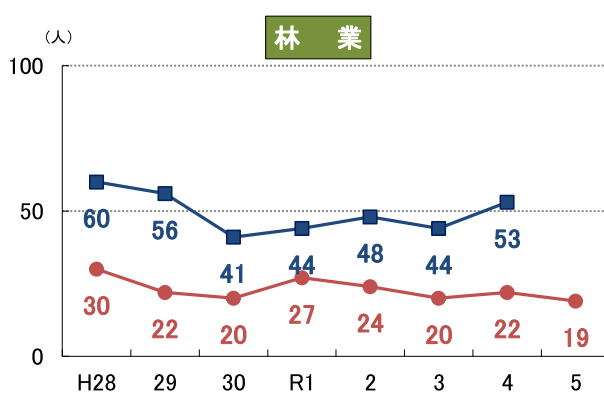
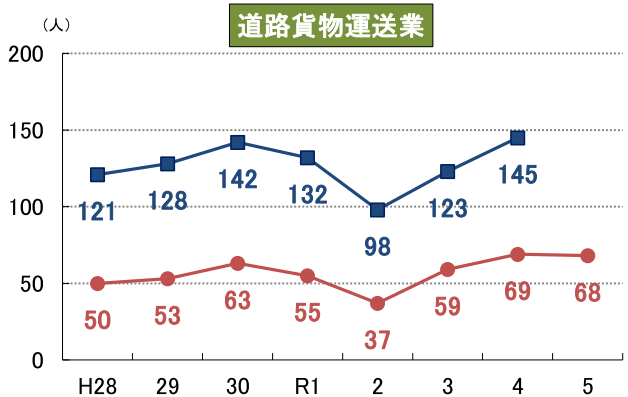
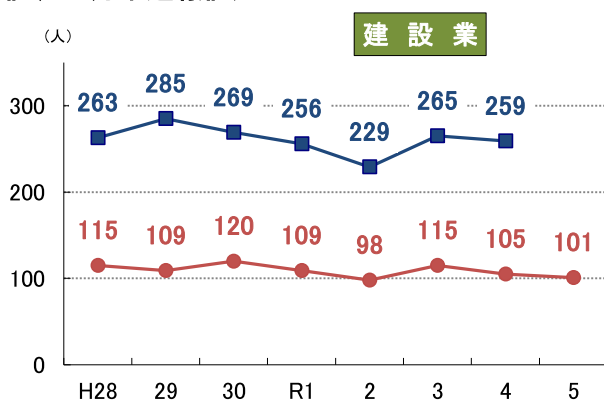
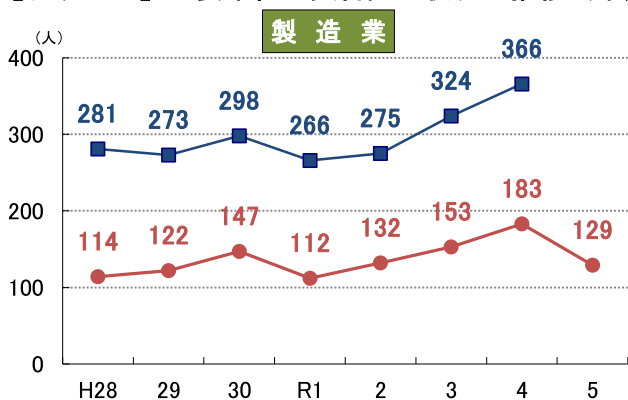
*1 令和4年は令和4年6月末の速報値、令和5年は令和5年6月末の速報値

*2 「その他(上記以外)」には新型コロナウイルス感染症によるものを含みます

【グラフ3】災害発生状況(確定値及び6月末速報値)の推移、比率



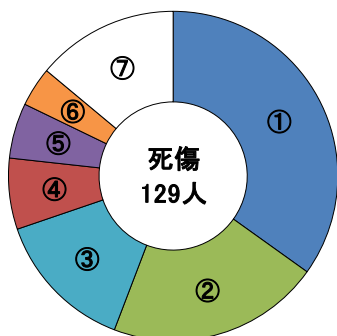
【グラフ4】主要業種の災害発生状況の推移(確定値、6月末速報値)



* いずれの数値とも新型コロナウイルス感染症に係る労働災害を含んでいます。

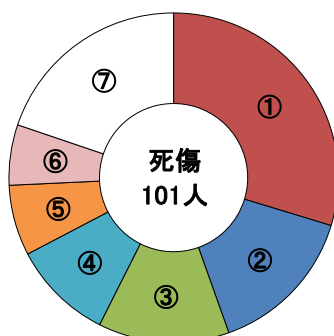
【グラフ5】主要業種の事故の型別発生状況（6月末速報値）

製造業



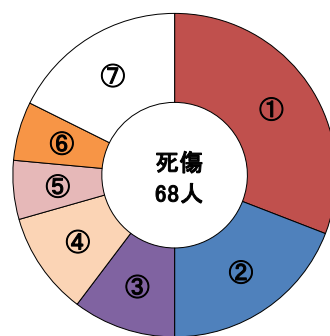
① 転倒	45人	34.9%
② はさまれ、巻き込まれ	27人	20.9%
③ 切れ、こすれ	18人	14.0%
④ 墜落、転落	9人	7.0%
⑤ 動作の反動、無理な動作	7人	5.4%
⑥ 飛来、落下	5人	3.9%
⑦ その他(上記以外)	18人	14.0%

建設業



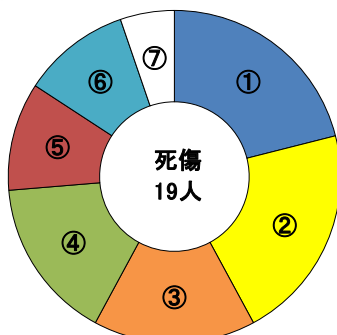
① 墜落、転落	30人	29.7%
② 転倒	15人	14.9%
③ はさまれ、巻き込まれ	13人	12.9%
④ 切れ、こすれ	10人	9.9%
⑤ 飛来、落下	7人	6.9%
⑥ 激突	6人	5.9%
⑦ その他(上記以外)	20人	19.8%

道路貨物運送業



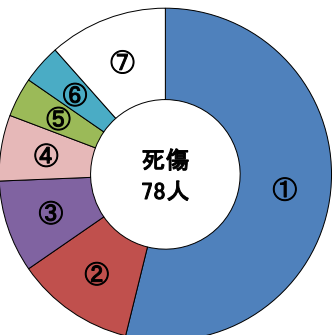
① 墜落、転落	21人	30.9%
② 転倒	13人	19.1%
③ 動作の反動、無理な動作	7人	10.3%
④ その他	7人	10.3%
⑤ 激突	4人	5.9%
⑥ 飛来、落下	4人	5.9%
⑦ その他(上記以外)	12人	17.6%

林業



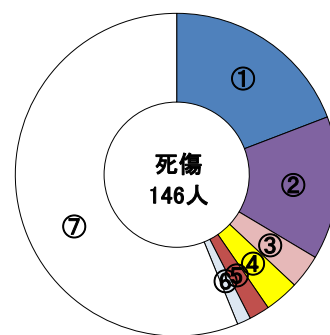
① 転倒	4人	21.1%
② 激突され	4人	21.1%
③ 飛来、落下	3人	15.8%
④ はさまれ、巻き込まれ	3人	15.8%
⑤ 墜落、転落	2人	10.5%
⑥ 切れ、こすれ	2人	10.5%
⑦ その他(上記以外)	1人	5.3%

小売業



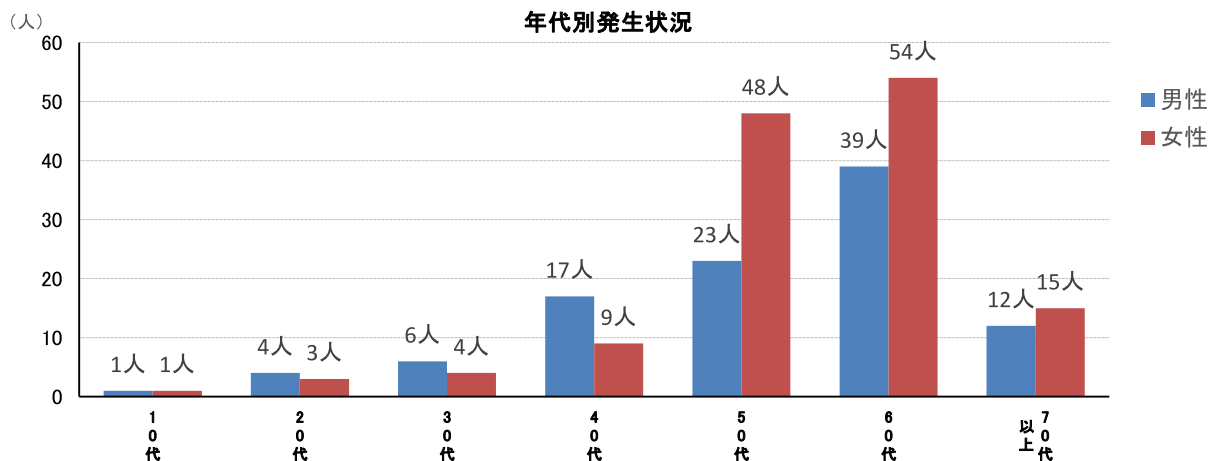
① 転倒	42人	53.8%
② 墜落、転落	9人	11.5%
③ 動作の反動、無理な動作	7人	9.0%
④ 激突	5人	6.4%
⑤ はさまれ、巻き込まれ	3人	3.8%
⑥ 切れ、こすれ	3人	3.8%
⑦ その他(上記以外)	9人	11.5%

社会福祉施設



① 転倒	28人	19.2%
② 動作の反動、無理な動作	21人	14.4%
③ 激突	5人	3.4%
④ 激突され	5人	3.4%
⑤ 墜落、転落	3人	2.1%
⑥ 交通事故(道路)	2人	1.4%
⑦ その他(上記以外)	82人	56.2%

【グラフ6】全業種の年代別転倒災害発生状況（6月末速報値）



【参考2】

令和5年1月～6月

令和5年 労働災害発生状況（休業4日以上の死傷者数）

岩手労働局

業種	当年累計	年齢別発生状況												
		19歳以下	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75歳以上
製造業	食料品			1	1	1	2	2	1	1	1	1	1	
	水産食料品	7	(3)											
	上記以外の食料品	55	(19)	4	1	1	1	7	8	9	15	6	1	
	繊維・衣服その他繊維製品	4	(1)		1				1			1		
	木材・木製品、家具・装備品	10	(1)	1	1	2	1	2			2	1		
	パルプ・紙、印刷・製本	2			1	1								
	化学工業	5	(2)							1	2			
	窯業土石	3	(1)										1	
	鉄鋼業、非鉄金属	6	(2)		1	1	1	2		1	1	1		
	金属製品	6	(1)	1	1	1	2	2	1	1	1			
建設業	一般機械器具	11	(2)	1	1	1	2	2	3	3	1	1		
	電気機械器具	9	(6)	1	1	1	1	1	3	3	2	1		
	輸送用機械製造	6	(3)	1	1	1	2	2	1	2	2			1
	電気・ガス	5	(4)						2	2	2			
	その他の製造	129	(45)	6	7	8	7	10	17	17	24	10	3	1
	小計													
	土木工事	35	(4)	3	2	3	3	3	4	6	5	4	1	1
	鉄骨・鉄筋家屋	20	(4)		4	1	1	2	2	3	4	2		
	建築工事	15	(2)	1	1	1	1	1	1	2	4	2	1	
	その他の建築工事	16	(2)	1	1	1	2	1	1	1	4	3	2	1
その他の建設	15	(3)		2	2	5	5	2	2	3	2			
小計	101	(16)	5	6	6	7	13	10	14	16	9	4	2	
道路貨物運送業	68	(13)	1	2	2	1	2	11	12	10	6	3		
その他の運輸交通業	8	(6)						1	1	4	2			
小計	76	(19)	1	2	2	1	2	12	13	14	8	3	1	
貨物取扱	2	(2)	1	1					1					
農業	6		1					1	1	2		1		
林業	19	(4)		1	1	4	1	2	1	2	1	5	2	
畜産業	23	(4)			2	1	3	4	5	3	1	1		
水産業	4		1	1						1				
小売業	78	(42)	2	1	1	6	3	3	13	18	11	4	4	
その他の商業	22	(9)	1	2	1	1	1	6	2	3	3	4	1	
小計	9	(6)	1	1	2	2	2	2	2	1	1			
通信業	146	(28)	14	12	6	9	15	22	22	20	3	3	2	
保健衛生業	95	(16)	5	5	13	8	8	8	12	12	6	2	1	
接客娯楽業	9	(2)	2	1	2	3	1	4	4	3	1	1		
飲食店	17	(7)	2	2	1	3	1	2	2	1	1	1		
その他の接客娯楽業	11	(4)	1	1	1	1	1	1	2	1	3	1	1	
ビルメンテナンス業	17	(11)			1	1	1	4	4	2	3	3	3	
その他の(上記以外の全ての業種)	57	(23)	1	1	1	4	4	11	12	8	8	3	2	
合計	821	(236)	10	43	42	43	72	100	123	130	64	34	18	

(注) 当年累計は令和5年6月末の速報値です。
 ○内は死亡者数(内数)です。
 ◎内は転倒災害者数(内数)です。

【参考3】 令和5年 主要業種における事故の型別労働災害発生状況(休業4日以上の死傷者数)

令和5年6月(令和5年6月末の速報値)		岩手労働局																					
		墜落・転落	転倒	激突	飛来・落下	崩壊・倒壊	激突され	はさまれ・巻き込まれ	切れ・こすれ	踏み抜き	おぼれ	高温・低温の物との接触	有害物等との接触	感電	爆発	破裂	火災	交通事故(道路)	交通事故(その他)	動作の反動・無理な動作	その他	分類不能	計
製造業	9	45	4	5	4	4	27	18	0	0	1	2	0	0	0	0	0	2	0	7	1	0	129
建設業	30	15	6	7	4	5	13	10	1	0	0	1	0	0	0	0	0	5	0	3	1	0	101
道路貨物運送業	21	13	4	4	0	4	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	7	7	0	68
林業	2	4	0	3	0	4	3	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	19
小売業	9	42	5	1	1	2	3	3	1	0	1	0	0	0	0	0	0	3	0	7	0	0	78
社会福祉施設	3	28	5	0	0	5	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	21	81	0	146
全産業	97	236	37	24	9	41	63	39	2	0	5	4	0	0	0	0	0	22	0	67	175	0	821
	11.8%	28.7%	4.5%	2.9%	1.1%	5.0%	7.7%	4.8%	0.2%	0.0%	0.6%	0.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	2.7%	0.0%	8.2%	21.3%	0.0%	100.0%
令和4年6月(令和4年6月末の速報値)																							
製造業	15	52	5	8	1	10	35	12	0	0	4	0	0	0	1	0	0	1	0	14	25	0	183
建設業	27	17	7	13	1	3	9	12	0	0	0	0	0	0	0	0	0	9	0	5	2	0	105
道路貨物運送業	16	25	7	2	0	3	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	5	0	0	69
林業	2	1	0	2	3	8	1	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	22
小売業	2	44	2	4	0	0	5	3	0	1	0	0	0	0	0	0	0	7	0	4	0	0	72
社会福祉施設	4	24	2	1	0	7	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	14	16	0	74
全産業	86	275	37	34	6	36	76	42	0	1	7	1	0	0	1	0	0	42	1	61	69	0	775
	11.1%	35.5%	4.8%	4.4%	0.8%	4.6%	9.8%	5.4%	0.0%	0.1%	0.9%	0.1%	0.0%	0.0%	0.1%	0.0%	0.0%	5.4%	0.1%	7.9%	8.9%	0.0%	100.0%
<差分>																							
製造業	-6	-7	-1	-3	3	-6	-8	6	0	0	-3	2	0	0	-1	0	0	1	0	-7	-24	0	-54
建設業	3	-2	-1	-6	3	2	4	-2	1	0	0	1	0	0	0	0	0	-4	0	-2	-1	0	-4
道路貨物運送業	5	-12	-3	2	0	1	-3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	7	0	-1
林業	0	3	0	1	-3	-4	2	-2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-3
小売業	7	-2	3	-3	1	2	-2	0	1	-1	1	0	0	0	0	0	0	-4	0	3	0	0	6
社会福祉施設	-1	4	3	-1	0	-2	0	-1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-2	0	7	65	0	72
全産業	11	-39	0	-10	3	5	-13	-3	2	-1	-2	3	0	0	-1	0	0	-20	-1	6	106	0	46